

# 一般質問

## 夏休みの壁



のざわひろこ  
野沢弘子



答弁  
実施に向けて  
試行を行っている  
お弁当手配  
学童クラブの  
お弁当手配

### アンケートの主な質問項目

- Q1：一般質問をしてみてどんな感想を持ちましたか？
- Q2：町からの答弁をどう感じましたか？
- Q3：今回の質問が行政に反映されると感じましたか？
- Q4：未来議会を通じて、町の議会や行政の仕事をどう感じましたか？
- Q5：町の執行役や町役場職員の仕事をどう感じましたか？



### アンケート結果から見えた3つのポイント

- ① 一般質問を経験し、町の課題を自分事としてとらえ、分析をした。(Q1)

「自分の意見をミスなくお伝えできたり、思いを伝えられた。」「どのような方針で社会体育化を進めていくか。」などの回答があり、自分の質問が政治参加へつながる事への意識向上が伺えました。



- ② 自分の考えや想いを町政に伝える難しさも (Q2・Q3)

質問に対する答弁を受けて「予算が足りないので難しいという答弁だった、反映されないかも」「答弁が具体的だったので反映されると思った。」など、考えを伝えるのは難しいという意見も多く寄せられました。



- 「イオンの会社の人と話し合っているううなで反映されると思う。」
- 「新聞記事にあったが、町長からも実現の内容が聞けて反映されると思った。」
- 「自分の言っていた内容はけっこう難しいようなものだから、反映は難しい。」
- 「無理だと遠回し言っていたから。」「現状に向き合っていなかった。」

- ③ 行政職への興味が芽生えるきっかけにも (Q4・Q5)

答弁を通じて「実際の議員として自分の意見を堂々と言うことができ楽しかった。」「責任感のある仕事だと思いました。」と将来行政に関わってみたいと答えた生徒もいた一方、「自分はやりたくない。」という声も。

- 「私は用意した原稿を読んだだけだったが実際の議会がどうなのか気になった。」
- 「大変な仕事だと思うけど興味を持てた。とてもやりがいのある仕事だと思った。」
- 「横に並んで見ていた人たちは何をしていたのか気になった。」
- 「小さな質問もしっかり聞いてくれる丁寧な対応をしてくれる仕事だと思いました。」



### おわりに

しもすわ未来議会は生徒一人ひとりの「学び」や「気づき」を引き出すとともに、町政や議会の役割について理解を深める大変意義ある機会がありました。生徒さんたちは行政や政治を身近なものとして捉え、自分たちの暮らす町について主体的に考える姿勢が育まれたものと受け止めています。

未来議会が単なる学習の場にとどまらず、参画意識を高める貴重な機会となっていることがうかがえます。下諏訪町にとって、次代を担う若者が町づくりに関心を持ち、自ら考え、発信する力を育むことは極めて重要です。議長としましては、今後も学校や関係機関と連携しながら、若い世代が町政に触れ、意見を表明し町づくりに参加できる機会を大切にしてまいります。そして、こうした声を真摯に受け止め、実際の議会活動に生かすことで、より開かれた、住民に身近な議会運営を目指していきたいと考えています。

問 1年前に質問要望した共働き家庭を悩ます学童クラブの夏休みのお弁当持参の解消は。  
教育こども課長 R8年度には早ければ夏休みのお弁当提供を実施したいと考えている。

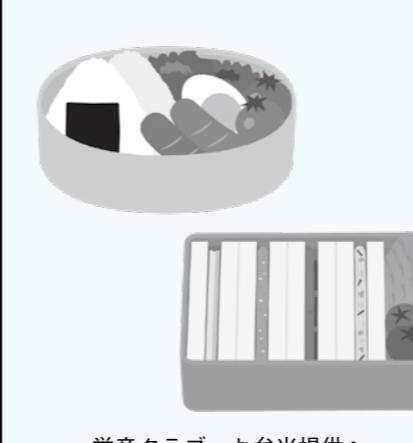
問 5歳児検診の実施を  
保健福祉課長 実施に向け研究中。

問 子どもの性被害防止  
教育長 憂み事の相談窓口を設け、子どもと教員がSNSで直接つながらないなど防止策を設けている。

問 就学前に発達の特性を見つけ早期療育や支援で、いじめや不登校を防ぐ5歳児検診の実施を。

問 学童クラブ お弁当提供へ  
総務課長 町DX推進計画はR4年度から取り組み、書かない・行かない・待たない住民サービスの実現を段階的に進めている。

問 住民サービスの向上は  
町長 は、新イオンに設置するか。乳幼児の遊び場、中高生、多世代交流の場となる。ユースセンターの機能は含んでいない。



学童クラブ お弁当提供へ

## しもすわ未来議会特集 中高生が語った「町への思い」

今年度も、10月27日に下諏訪町内の中学生・高校生が参加して行われた「しもすわ未来議会」は、実際に議場で一般質問を行う貴重な体験の場となりました。議会終了後、生徒の皆さんに以下の5つの質問でアンケートを実施し、その結果から見えてきた“議会へ向けての若い世代の視点”をまとめました。

